

しか おい

議会だより

三二版 No.37
2012.11.26



発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部会
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地
TEL/0156-66-4039 FAX/0156-66-4041

JAふらの農作業体験施設
JAふらのの農作業体験施設は、富良野市が設置しJAふらのが指定管理者として運営しています。都市部の若者が富良野に滞在し生活して農作業の手伝いをするという施設です。女子80室、男子40室の個室があり寮費は1日840円であり食費は3食で1,050円とのことでした。毎日50軒ほどの農家にバスなどで送迎されています。

働く人には、時給850円が支払われますが雇用主はその他に労働保険料などの事務対策費として1日1,800円をJAふらのに払っています。

鹿追町の農業は、酪農家を中心に農家従業員など多くの外部からの雇



農作業体験施設 宿舎

産業厚生常任委員会では平成24年度所管事務調査を10月9日～11日に実施しました。

士別市の鹿の被害対策など調査 産業厚生常任委員会

用労働者によって支えられています。畑作は自家労力が基本でありますが、春の植え付けや秋の収穫時に

は外部からの雇用者に依存する場面もあります。今後、新規作物の導入などで集約的な農業を行っていく場合、このような施設があれば労働力が安定的に確保でき、新たな産業育成につながる可能性があると思われました。

士別市 鳥獣対策

鹿追町では近年エゾシカを中心とした農作物への鳥獣被害が増加傾向になっています。その対策に成果を上げている士別市を調査しました。

士別市では有害鳥獣の駆除、ヒゲマ箱わな設置、エゾ鹿駆除費として80万円で猟友会に業務委託をしています。さらに鹿駆除は1頭1万円の助成を行っており、また狩猟免許の取得助成6万円、わな猟免許の取得助成1万円も行っています。駆除したエゾ鹿は最終処分場の一角に埋却処理されその時に市の職員が頭数の確認を行っています。

士別市のH21年の被害額は約6,100万円であり、H21年度捕獲頭数47頭、

議会活動

〈8月〉

- | | |
|---------------------------------|--|
| 27日 総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会 | 17日 全国市議会議長基地協議会北海道支部定期総会、奈良県河合町議会視察来町 |
| 28日 十勝町村議会議長研修会 | 22日 更別村議会視察来町、幕別町議会視察来町、陸別町議会視察来町 |
| 29日 全員協議会、鹿追町議会議員定数・報酬及びあり方等審議会 | 24日 北十勝4町議会議員合同研修会 |
| 31日 委員長会議、議会運営委員会 | 29日 新ひだか町議会経済常任委員会視察来町 |
| | 30日 議会運営委員会 |
| | 31日 総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会 |

〈9月〉

- | | |
|-----------------------------|--|
| 5日 広報広聴常任委員会広報部会、広報部会モニター会議 | |
| 6日 定例会(初日)、全員協議会 | |
| 10日 総務文教常任委員会 | |
| 12日 定例会(一般質問)、産業厚生常任委員会 | |
| 18日 総務文教常任委員会 | |
| 19日 決算審査特別委員会、全員協議会 | |
| 25日 定例会(最終日) | |

〈11月〉

- | | |
|------------------------------------|--|
| 5日 十勝町村議会議員研修会 | |
| 6日 遠紋地区町村議会議長視察来町、全員協議会 | |
| 7日 帯広市議会主催講演会、群馬県千代田町議会視察来町、まちなか会議 | |
| 8日 総務文教常任委員会 | |
| 9日 広報広聴常任委員会広報部会、全員協議会(勉強会)、臨時議会 | |
| 13日 第56回町村議会議長全国大会 | |
| 22日 総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会 | |
| 26日 全員協議会 | |

〈10月〉

- | | |
|--|--|
| 1日 浦幌町議会視察来町 | |
| 5日 広報広聴常任委員会広報部会、産業厚生常任委員会、全員協議会(幼保一元化勉強会)、議会運営委員会、議会報告会 | |
| 9日 産業厚生常任委員会視察研修(～11日まで) | |
| 15日 広報広聴常任委員会広報部会、委員長会議 | |
| 16日 神奈川県海老名市議会視察来町 | |

今年最後の、 傍聴の機会です。

12月定例議会開催

12月5日10時00分
鹿追町議会3階本会議場

12月の定例会は12月5日から13日間の日程で開催が予定されています。
12日午前10時から一般質問を予定しています。

議会広報広聴常任委員会

広報部会	
部長	狩野 正雄
副部長	武藤 敦則
部会員	台蔵 征一
部会員	上嶋 和志
部会員	山岸 宏

H22年度約1250頭、H23年度は約1660頭を駆除し、駆除により農畜産物の被害額は現状維持となったそうです。士別市においては駆除の報償費を22年度より引き上げることににより捕獲頭数が飛躍的に増加しています。この事象を見る限りでは、鹿追町においても捕獲後の処分方法と報償費を検討する必要があると思われると思います。



また近年、猟銃所持の規制強化や

ハンターの高齢化により猟友会のメンバーが減少してきているので狩猟免許やワナ猟免許の取得に對しての助成も検討していかねければならぬと思われました。

(前) デイリースーパー士別 TMRセンター

(前) デイリースーパー士別は酪農家の過重労働の軽減や酪農経営に貢献できるTMR（粗飼料と濃厚飼料等を適切な割合で混合し、乳牛の養分要求量に合うように調製した飼料）の供給を目的として平成13年11月に設立され、建設時にはJA鹿追町のコントラ事業を視察して参考にしていくとのことでした。

JAや行政の支援を得ることが難しいなか、この地域でこれから酪農家として生き残っていくための選択として、自らが考えTMRを選択したそうです。

JA鹿追町においてもその設立が計画されていますが、個体乳量のアップや酪農家の労働力や機械設備投資の低減が見込まれることから大変有効な施設であると思われました。

た。

岩見沢市 社会福祉法人クビド・フェア

クビド・フェアは、ミニチュアベアリングの組み立て、IT事業、LEDを使った野菜工場、オリジナルの福祉機器の開発などたくさんの方の授産事業を行っています。身体障害、知的障害を持たれている方がお互い助け合い作業をしています。

障がい者が働くことにより社会に参加し貢献できる喜びを与えることをその法人の理念としています。

近年、社会福祉法人の多くが多角的な経営を行っています。クビド・フェアでは、赤色LEDを使った野菜工場でベビリーフやリーフレタスの栽培を行っています。水耕栽培であり、学校給食や病院食にはO157などの感染の恐れなどから、生野菜の使用が難しいところですが極めて清浄なことからの需要が増えているとのことでした。

鹿追町においてもバイオプラントの余剰熱を熱源に利用する水耕栽培での野菜栽培を「授産事業」として

立地条件（土地、気候、バイオエネルギー）を活かし、専門的見地からの人材の確保、大学や研究機関と共同し、高品質、高収益の作物栽培を模索し、商品化を図る事は、雇用の拡大と合わせて鹿追町の活性化に繋がると思われます。



道の駅えにわ直売所

リーフを栽培し、カゴメからトマト、エスビー食品からベビリーフの栽培委託を受けるほか、自社ブランド品を生産しています。年間生産量はトマト約1,000トン、ベビリーフ34トン、リーフレタス20トンで2012年度の売上高4億円を目指しているそうです。

本町においても苺や苺苗栽培、さつまいも、生葉等の栽培や商品化に向けて研究しており、鹿追の



エア・ウォーター農園

議会が住民に見える形となり、住民の中に溶け込めることがこの委員会の目的でもあります。広聴活動を通じて広く住民の意見を聞き、住み心地良い街づくりを目指しています。

また、委員会としては地域の課題を取り上げ、認識を共有し対応することが必要です。毎回定例議会後の議会報告会は、自由に意見を述べられる場です、ぜひ多くの皆さんの参加をお待ちしています。



クビド・フェア

視野に入れて検討することも必要と思われました。

花ロードえにわ（道の駅）

恵庭市は道央圏に位置し、一日3万3千台もの車両が通過する国道36号線がありながら通過するだけの町となっていました。恵庭を目的地としてもらえることを願

**常任委員会での広聴活動
広報広聴常任委員会**

議会基本条例が施行され、広報広聴常任委員会を設置し一年半が過ぎました。この間、様々なまちなか会議が行われ住民の皆さんから貴重な数々のご意見をいただき、議会活動に反映しているところで

また、行政依存型ではなく指定管理者による自主運営管理による健全経営を図っています。市からの指定管理料は無く、収益確保のためには、徹底的にお客様のニーズを把握しそれに応えるため道の駅独自の商品の開発、フードメニュー開発、ペーカリー部門の充実等で高収益を上げています。

また、行政依存型ではなく指定管理者による自主運営管理による健全経営を図っています。市からの指定管理料は無く、収益確保のためには、徹底的にお客様のニーズを把握しそれに応えるため道の駅独自の商品の開発、フードメニュー開発、ペーカリー部門の充実等で高収益を上げています。

鹿追の道の駅の運営管理においても参考になる点が多々あります。

千歳市 エア・ウォーター農園

エア・ウォーター農園は、2009年に設立された農業法人で千歳と長野県安曇野市でトマトとベビー